GD507F GHD TELEGRAPH KEY 取扱説明書

この度は GHD キーをお買求め戴き、誠に有難う御座いました　R14.04.22

● 特徴

① レバーに取り付けられた遮光板で光を遮ると符号が出る今までに無い画期的な　世界で唯一弊社 Only のキーです

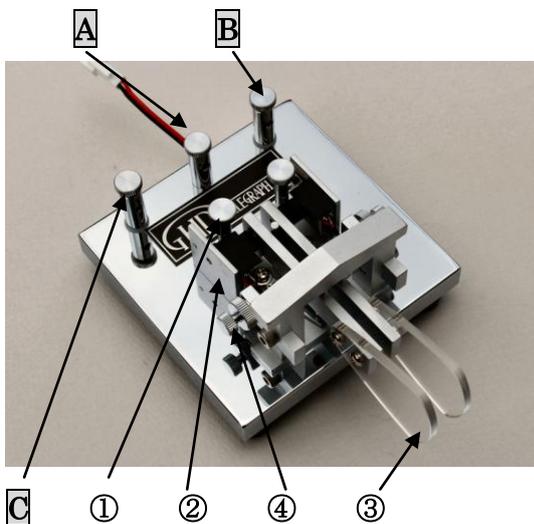
② メカ接点がないので　カチャカチャ音が無く　接触不良も有りません、(キー操作は力を入れずに行って下さい)

③ ベースは鏡面研磨後硬質クロームメッキにパーツはヘアライン加工後硬質クムメッキ仕上がりになっております

● お手入れ

ベース(クロームメッ)の指紋等の汚れは　軽く息をかけテッシュペーパーで軽く拭き取って下さい

● 調整手順

A　B

付属の DC コードは赤がプラス 13.8V,黒がアースです

C　①　②　④　③

1　端子 A B C にモールス発信機又はキーヤーを繋ぎ符号がモニター出来るようにします

2　光センサーのフレーム固定用ネジ①を緩めます

3　写真の②の部分を指で押し 止った所で符号が出る事を確認します

4　ツマミ③を左より右に 0.5 ないし 1 ミリ移動しネジ①で固定します(ストローク調整になります)

5　その時のバネ圧をネジ④で合わせます

6　右側も同じ様に調整します

7　各ネジのロックナットをキチンと締め付けて下さい(指定箇所以外は触らないで下さい)

・運用中は電源を切らないで下さい、電源が切れると符号が出っぱなしになることがあります

・改良の為デザイン　仕様等が変更になる事があります、

・**エレキー**として使う時は別に**キーヤー**(符号発生器)が必要です、最近の**リグ**には殆ど内蔵されていますが
内蔵されてなかったり、 使い勝手をもっと良くするには弊社の**メモリーキーヤー**　**GK509A** のご使用をお勧めします、
符号の記録　再生もでき大変に便利です(**SW**　一つで**縦振り**や**バグキー**と**エレキー**が使えます)

・一般的な**エレキー**の右手操作の時 端子 C は短点(ドット) B は長点(ダッシュ)となります、端子 A はアース(コモン)です

株式会社 GHD キー

〒981-3326　宮城県黒川郡富谷町明石字下向田 24-14

Tel 022-779-0681　Fax 022-779-0682　www.ghdkey.co.jp